

### ◆旧有備館および庭園無料公開

9:00~16:00



旧有備館は岩出山伊達家2代宗敏の隠居所として1677年に建てられ、

その後下屋敷や岩出山伊達家の家臣子弟の学問所にもなった国指定史跡名勝。東日本大震災で倒壊し、今年3月末までの完了を目指し、2011年から復旧工事が進められている。現在、回遊式池泉庭園を無料公開して、工事了後は有備館内部も見学できるよつになる。内部公開の日程など、詳細は問い合わせを。

会場/旧有備館および庭園  
(大崎市岩出山上川原町6)  
TEL0229-72-1344  
休/無休

### ◆秋保ワイナリー

仙台市太白区秋保町の新たな観光名所としてオープンしたワイナリー。山梨、山形県産のブドウで造るワインに加え、同市や亘理町産のリンゴを使ったシードルなども販売している。施設内には試飲コーナーもあるので、飲み比べてお気に入りの味を探しては。2017年秋には自社農園で育てたブドウのワインを発売する予定。



仙台市太白区秋保町湯元枇杷原西6  
TEL022-226-7475  
営/9:00~17:00  
休/火曜

### ◆松島瑞巖寺本堂再拝観

4月5日(日)から8:00~16:00  
(4月は17:00まで)



伊達家の菩提(ぼだい)寺の瑞巖寺は、桃山様式を伝える荘厳な建築が特徴。修復事業のため、国

宝「本堂」は2009年から立ち入ることができなかったが、修復が完了し、いよいよ再拝観が開始される。本堂前には「臥龍梅(がりゅうばい)」は、例年4月に見頃を迎える。この機会に間近で観賞しては。拝観料は大人700円、小・中学生400円。再拝観の記念企画で、先着2万人は記念品がもらえる。

会場/瑞巖寺  
(松島町松島字町内91)  
TEL022-354-2023  
休/無休

## イベント & トピックス

※価格は商品1点の総額(本体価格+消費税)

**女が弱いなんて誰が信じるの?**  
今回の作品の主人公は、いずれも女性ながら強い。生物学的にも、男性より女性の方が生きる力が強いらしい。種族保存を考える人間としては、心強い限りである。  
**危険がいっぱい**  
(1964年)  
ルネ・クレマン監督

●ふくろう  
発売・販売元/  
オデッサ・エンタテインメント  
DVD2800円(税抜き) 発売中  
©近代映画協会  
  
●危険がいっぱい  
DVD 販売終了



丹野 六右衛門/塩釜市在住、69歳。映画サークル「遊々シアターフレンズ」代表

向かう2人は組織の親分の夫と、不倫をしてしまった妻。部屋で実地検証。相手の男の首を持って来い、と部下に言う夫の声に、妻の叫び声。それがオープニングの音楽に変わるしやれた段取り。組織に命を狙われた男マルクは、辛くも危険を切り抜け、富豪の未亡人バーバラと、そのいとこのメリンダと巡り会う。大富豪の家の秘密とメリンダのわなに翻弄(ほんろう)されるマルク役に、アラン・ドロンのメリンダを演じるジェーン・フォンダが、美しく妖しい。

とても面白い。ラロ・シフリンの音楽もとてもいい。ニースなどの美しいフランスの観光地で繰り広げられるサスペンスを楽しんでください。  
**ふくろう**  
(2004年)  
新藤兼人監督  
主演は大竹しのぶ。監督は当時91歳の新藤兼人。時代は1980年。東北の山間部の開拓村。国策で入植者を募り、開墾したが、そこはどつにもならない不毛の地であった。開始時20家族いた入植者も全ていなくなり、残っているのは大竹しのぶの母親と伊藤歩の娘のみ。飢餓の極致の2人は男を食い物にすることを決意。  
同じ山中の、ダム工事人夫。電力会社の技師。ダム工事の主任。電力会社の課長。水道局の職員。ダム工事の監督。これらの男たちを次々と色仕掛けで誘い、金を巻き上げ、最後は特製の農薬入り焼酎で、コロリ。  
猛禽(もうきん)類のフクロウが小動物を襲って、捕食する様子に見えたのは、新藤監督の狙い。行方不明者続出で村の警察官のお出ましとなり、県の職員やら、以前開拓村の住人だった若者などが入り乱れて、混乱の極み。  
ブラックユーモアの中で行政、政策のやり方などに批判の目を向ける脚本を手掛けたのも新藤監督。大竹の演技はまたもや出色の出来。面白い。